カレンダー

令和5

15日 …… 涅槃会

3月 …… 春彼岸法要

4月 8日 …… 釈尊降誕絵(花まつり)

6月下旬 …… 本山妙心寺新亡供養

8月1日~3日 …… 施餓鬼受付

13日……盆迎え 15日……施餓鬼法要 16日…… 盆送り

 9月 秋彼岸
 ……
 秋彼岸法要

 12月 8日
 ……
 成道会

○定例行事・催し物の紹介○

【坐禅会】 每週日曜日 朝6時~7時

【写 経】 第4土曜

午後1時30分~4時30分まで(8月は盆行事のため休会)

教養講座-

もったいないをかたちに【開催中】

【金つぎ教室】 講師 花輪滋實

第4土曜日 午後1時半~午後4時半

思いをかたちに【休会中】 【**仏像を彫る会**】

健康は声から【休会中】 【**声をだして元気になる**】(ボイストレーニング)

霊園管理費納付のお願いは、春彼岸のご案内と一緒にお届けします

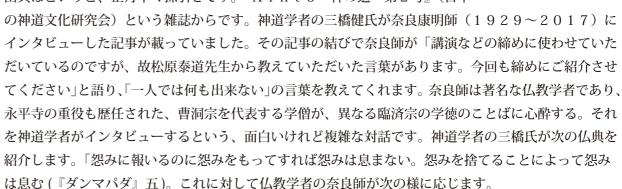
例年、この欄では年中行事や寺主催の旅行へのお誘いをしているのですが今はちょっと……。そこで、境内の北、旧中山道に面したところにある、伝道掲示板の令和5年正月に掲載するものを紹介します。

伝道揭示板

伝道掲示板には 1 ヶ月にひとつの言葉を紹介しています。経典の引用であったり、詩や小説のなかの言葉であったりします。道ばたの 1 メートル四方の掲示版ではお伝えできない、ことばの周辺は松岩 寺ホームページの blog に載せています。

一人では何もできない。しかし、その一人が始め なければ、何もできない。 松原泰道

新年の言葉にしたのは、仏教書としては空前のベストセラーを記録した『般若心経入門』(祥伝社)の著者・松原泰道師(1907~2009)の言葉です。 出典はというと、正月早々孫引きです。『Xintor in Correct in Co



一 『ダンマパダ』のこの詩とは、学生時代に出会っているのですが、その時、腹が立って、お釈迦さんに文句を言った記憶があるんです。その頃、私はタバコを吸っていまして、それを止めたくてしょうがない時期でした。「怨みに報いるのに怨みをもってすれば怨みは息まない」、怨みの連鎖的な活動があることは、よくわかる。しかしね、「怨みを捨てることによって怨みは息む」、お釈迦さん、これはなんですか! と。これでは「煙草を吸わなければ、禁煙できる」というのと、同じじゃありませんか! そんなことわかっているんです。どうやったら吸わなくてすむようになるか、ということを教えてくれなかったら困るじゃないですか、とね。この詩を読みながら、「もっと親切な教え方はないんですか」と文句をつぶやいていました。ところがだんだんと勉強してまいりまして、次の言葉に出会います。「如来は教えを説くのみ」「実践するのはおまえたちだ」(『ダンマパダ』 276) ——

インタビューはまだまだ続くのですが、残念ながらこの対話の4か月後に奈良師は逝去されてしまいます。しかし、死を数ヶ月前にしたとは思えない、論理明晰な応答です。

さて、あたらしい年にたてる誓願。身の丈にあったのなんていわずに、どうせだったら、大きいのを いきませんか。だって、一人では何も出来ないけれど、一人が始めなければ、何もできないのだから。